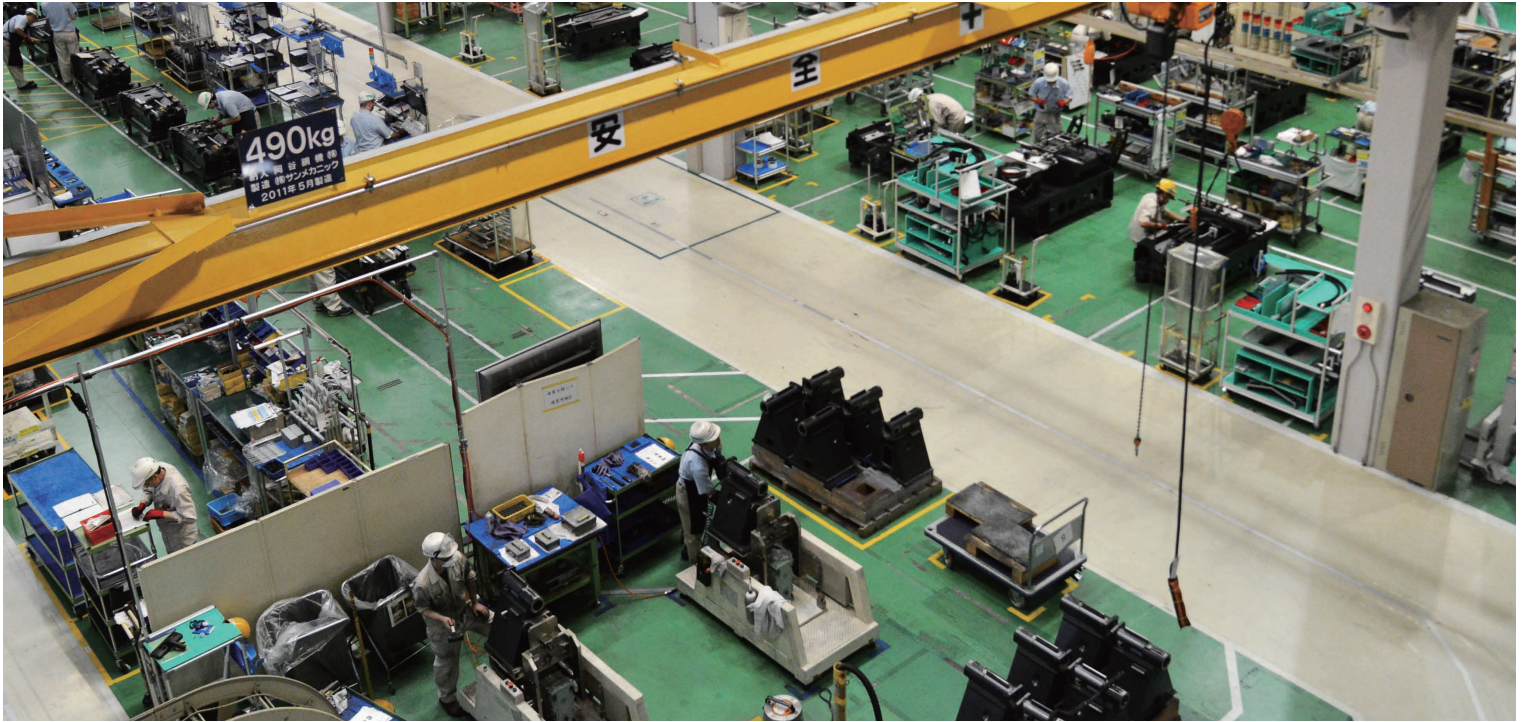


WBGT

大切な現場スタッフを守る 熱中症予防システム

高温環境下で作業を行う現場スタッフの熱中症予防のために考えられた暑さ指数（WBGT）を計測し、熱中症の危険度を判断するシステムです。



Point 01 業界初！

業界初！ヘルメットや胸元に装着可能「小型風速黒球温度センサー」も搭載。

Point 02 3つの見える化

作業者の「作業環境・健康状態・行動パターン」の見える化を実現。

Point 03 危険を通知

危険時には「ブザー」や「ランプ」でお知らせ。

Point 04 10種類のセンサー

気圧や心拍数、位置情報が分かる多種多様なセンサーを搭載。

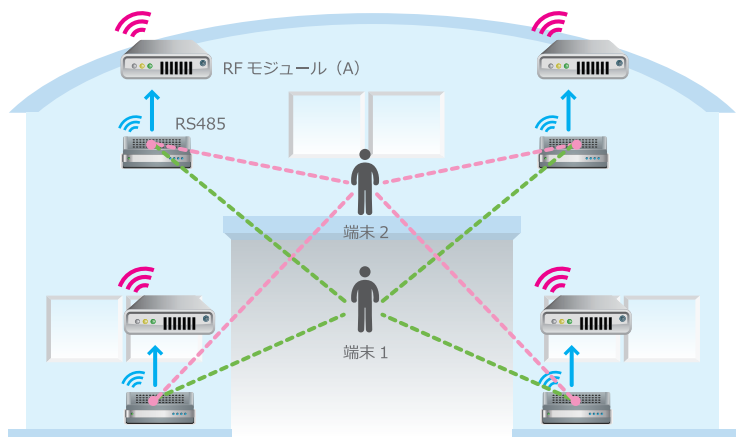
豆知識 暑さ指数（WBGT）とは？

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①温度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標で乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算します。

高温の許容基準		熱中症予防のための運動指針	
作業の強さ	許容温度条件	- 31 -	特別な場合以外は、運動を中止する
	WBGT(℃)		
RMR ~1 (軽作業)	32.5	- 28 -	激しい運動や持久走など熱負荷の大きい運動は、避ける 積極的に休憩し水分補給する
RMR ~2 (軽作業)	30.5		
RMR ~3 (中程度作業)	29.0	- 25 -	運動の合間に、積極的に水を飲む
RMR ~4 (中程度作業)	27.5		
RMR ~5 (重作業)	26.5	- 21 -	熱中症の危険は小さいが、適宜、水を飲む
		WBGT(℃)	

※日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

※日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会



※高温環境下で作業を行う作業者の状態をセンサーから読み取ります。



位置情報不要な場合はSDカードで最短1秒単位の温度情報取得が可能。



取得したデータはCSVデータとして出力が可能。



お客様のご要望に合わせたシステムカスタマイズも可能。



ダクト火災 早期検知システム

ダクト火災の初期段階を検知することで火災進行を防ぎ
初期消火を可能とします。



ダクト火災とは

排気ダクト内に付着・堆積した油や粉塵に、溶接のスパッタなど高温物を吸引することで引火し火災が発生する事です。
最大の予防策は、ダクト内清掃を定期的に行うのが一番です。油や粉塵を取り除いておけば、引火の心配はありません。

Point 01 温度取得

吸入口・排気口・ファン入口・出口各部分の温度。任意で室内・室外の温度、ダクト中間温度を取得。

Point 02 運転信号取得

排気ファンの運転信号を取得。強制的にファンを停止。
※信号は接点・電圧・電流

Point 03 警報出力

異常判定時にパトライトや警報ブザーで火災を警報。火災発生部分別に出力する事も可能。

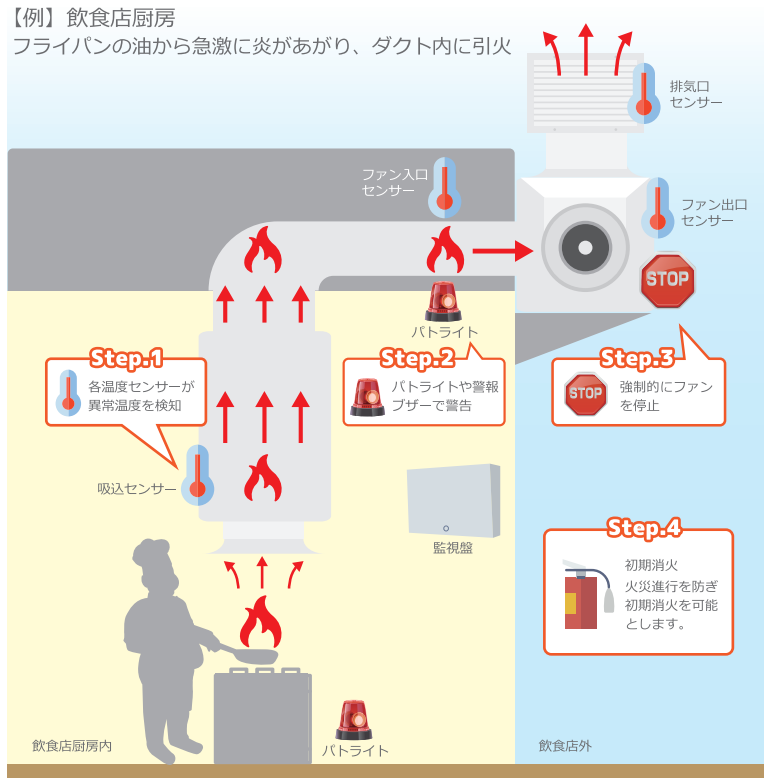
Option オプション

インターネットに接続して遠隔地から現在状況や警報受信が可能。

本システムはダクト火災自体を予防することは出来ませんが、ダクト火災の初期段階を検知することで火災進行を防ぎ初期消火を可能とします。

【例】飲食店厨房

フライパンの油から急激に炎があがり、ダクト内に引火



製造元

販売元


株式会社 ミナミテクノ
MINAMI TECHNO
〒457-0844
愛知県名古屋南区堤町2丁目45番地
TEL:052-692-3565 FAX:052-692-3045
http://e-mtec.co.jp


ES株式会社
Energy Saving Company

〒910-0006
福井県福井市中央1丁目19番21号 福井クレストビル3F
TEL:0776-28-7702 FAX:0776-28-7703
http://www.essys.co.jp